

●海洋教育写真コンテストの入賞作品より、B部門（海の風景とくらし部門）の優秀賞の作品です。右は、三崎小学校5年生の小林留維さんの作品で、タイトルは、「にじの大橋」。なかなか見ることができない低い「虹」大人も子どもも、見ると歓声を上げてしまう「虹」。そんな「虹」を見事にカメラにおさめました。しかも、城ヶ島と三崎をつないでいます。この虹は、三浦の「夢の架け橋」と言ってもいい



かもしれません。左は、三崎小学校5年生の中村心良（こよい）さんの作品です。この作品の主人公は「猫」。陸に上がっている船を見て、迫力を感じたのでしょうか？大海原を想像したのでしょうか？中村さんは、「船に乗りたそうにながめていた猫がポイント」とコメントしています。タイトルは、「私ものせてって〜」。中村さんの思いがタイトルにも表現されています。

次の写真は、岬陽小学校5年生の與（あたえ）琥珀（こはく）さんの作品で、タイトルは、「吸い込まれそうな位キレイな海」。三浦ではめったに見ることがない色。エメラルドグリーンと深みのある青。「藻」が関係しているのではないかと思われる色合いです。撮影場所は城ヶ島。城ヶ島の新たな魅力を感じさせる作品です。撮影した與さんも、とても気に入っているそうです。



●11月25日、26日の2日間、初声市民センターで、三浦市創造展が行われ、本研究所も参加させていただきました。

海洋教育写真コンテストの優秀作品、本研究所の活動の様子、全国大会で発表した三浦の海洋教育に関するポスター及び、三浦野菜の展示などをしました。小中学生には、海に関するアンケートに協力してもらいました。



●11月28日（火）岬陽小学校3年生と名向小学校3年生が、県立海洋科学高校の協力で、実習船湘南丸の見学を行いました。

最初に、船長さんから、お話しをいただいたあと、船内を見学しました。船内では、水が貴重品で、洗濯も海水で洗い、すすぎだけ真水（海水から真水を作る装置もありました）です等の話に驚き、ブリッジでは、航海士になった気分で、双眼鏡をのぞいていました。高校の先生のお話しでは、延縄の投入に3時間、巻き上げに8時間かかる等、漁の大変さを学ぶことができました。



実際の船を見ることにより、初めて分かることも多かったようで、大変有意義な見学会となりました。



●11月29日（水）、南下浦小学校で、砂浜を使っての全校マラソン大会が行われました。低学年、中学年、高学年に分かれてレースをします。琴音付近をスタートしてマクドナルド付近まで、砂に足をとられながら激走しました。好天の下、保護者の皆さんも多く応援していて、和やかな雰囲気での大会でした。



（文責 事務局長 渋谷）

海洋教育に関するお問い合わせは、みうら学・海洋教育研究所（854-9443）まで